

令和 8 年度「伝統的工芸品公募作品展」作品管理・展示・輸送等業務委託

企画公募 仕様書

本企画公募への提出物および参加方法の詳細は別紙「実施概要」を参照すること。

(1) 業務の名称

令和 8 年度 伝統的工芸品公募作品展 作品管理・展示・輸送等業務委託

(2) 主催（発注者）

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会（以下「伝産協会」）

(3) 想定スケジュール

※審査会・展示会期など、決定している日程は青色で示す。

※出品申込は 7～8 月頃。伝産協会が受付し作品情報をデータ化し作品受付までに共有予定。

業務内容	日程・会期	開催場所
作品の受付・開梱・記録撮影	9 月中旬頃	
審査会用作品カード類の作成	審査会前	
審査会（一般非公開）	10 月 6 日（火）搬入設営 10 月 7 日（水）鑑査 10 月 8 日（木）審査 10 月 9 日（金）撤去・搬出 10 月 10 日（土）搬出予備日 ※作業時間を含め詳細は要相談	東京都立産業貿易セン ター台東館 4 階北 （台東区） ※搬入・搬出時に伝産 協会に立ち寄り備品を 運搬すること。
作品保管 ※審査会で選外となった作品の返却 が生じる可能性がある。	審査会后～展示会①	
パネル・作品カード等の作成	10 月中～11 月上旬	
授賞式（ <u>作品の展示はしない。</u> ） ※授賞式用のパネル・イーゼルを宅 配便で現地送付を想定	11 月 6 日（金）	小田原三の丸ホール （神奈川県小田原市）
展示会① （審査会を経た全ての作品を展示・ 販売）	11 月 6 日（金）搬入・展示 11 月 7 日（土）展示会会期 11 月 8 日（日）展示会会期	パシフィコ横浜 展示ホール C・D 内 （神奈川県横浜市）

	11月9日(月) 展示会会期 ⇒16:00 会期終了後、9日中に撤去・搬出	
作品保管	展示会①～展示会② ※展示会①で現品が売約された場合、出品者から代替商品が追納される場合がある。その場合は受け取り業務が生じる。	
展示会② (審査を経た全ての作品を展示)	<p>【会期】 11月25日(水) 10:00 ～12月7日(月) 13:00 ※12月1日(火) 休館</p> <p>【作業日】 ①11月20日(金) ⇒美術館準備室に作品搬入 ②11月24日(月) ⇒設営展示 ③12月7日(月) ⇒閉室後、会場撤去 ④12月8日(火) ⇒準備室で梱包・搬出</p> <p>※国立新美術館内の準備室の利用有無と利用日は、委託決定後に協議して決定する。</p>	国立新美術館 展示室1D (港区六本木)
作品返却	展示会②終了後 (年内または2027年1月までに発送完了を想定)	

※期間中、作品の保管は原則として受注先倉庫で担うこと。

※展示会①は展示品の販売を伴う。

※詳細なスケジュールは委託後、協議のうえ決定する。

(4) 応募作品の見込み数

最大 約350点

【想定される工芸品】織物・染色品・繊維製品・陶磁器・漆器・木工品・竹工品・金工品(刃物含む)・仏壇仏具・和紙・文具・石工品(貴石細工含む)・人形こけし・そのほか諸工芸

※等身大の仏像・石工品、大型の壁面、箆笥等の家具が出品される場合がある。
※組・セット商品は1点としてカウントする（例／急須と湯呑5客のセット等）。
※作品本体の他、化粧箱等の付属物も展示する場合がある。

（５）業務委託内容（委託業務を時系列で掲載する）

5-1. 各種保険の提案・加入・管理

以下記載する一連の委託業務（作品受付後、各種展示および全作品の返却業務を終えるまで）の期間中、必要と思われる各種保険を提案すること。業務委託の決定後、伝産協会と協議し保険内容を協議したうえで加入・管理すること。また有事の際は保険会社（代理店）および出品者との協議、手続き等の対応を伝産協会に代わり行うこと。

【想定される保険】

- 保管期間中の保険
- 展示中の保険（作品の破損・紛失、来場者の負傷、会場の建物・備品類の破損）
- 輸送時（受注先倉庫から展示会会場および伝産協会への輸送時）の保険
- 作品返送の保険（送料に含めても可）
- 類似の工芸・美術コンクールにおいて一般的と思われる保険種目があれば提案すること。

《賠償責任保険の免責想定》

- 施設所有者賠償責任（保険金額1事故10,000万円、免責金額0円）
- 借用施設保障（保険金額1施設3,000万円、免責10万円以下）
- 受託者賠償責任（保険金額1事故 出品合計金額、免責1万円以下）

《出品合計金額の想定（概算見積用）》

作品1点50万円×350点（合計175,000,000円税込）を想定し、見積を作成すること。

※実際には数百万円以上の高額品から数千円の安価なものまで幅広い価格の出品が予想される。

（参考）前年度の応募点数と価格（税込・販売手数料30%込み）

作品点数	作品総額	最高額	最低額
248	¥114,216,640	¥4,686,000	¥5,500

5-2. 作品受付・開梱・記録撮影・作品管理

- ①作品受付、保管場所を提供すること。
- ②伝産協会がデータで共有する出品情報をもとに、整理分類・開梱し、内容及び状態の確認作業を行うこと。また作品情報との齟齬や破損等が見つかった場合は伝産協会に報告すること。
- ③受付状況をデータ等で管理し、進捗を伝産協会に共有すること。
※整理分類やデータの共有方法は委託後、協議して決定する。

※作品は送付受付が原則だが、一部、作品の重量等の都合により直接搬入の可能性がある。

④開梱時、記録用写真の撮影。

※作品全体と付属品を撮影すること。記録用のため背景やアングル、画質は問わない。

※データ名に作品番号を記入し、伝産協会に共有すること。

5-3. 審査会の展示・運営補助

(1) 概要

場所：東京都立産業貿易センター台東館（東京都台東区花川戸 2-6-5）

会場：4階展示室「南」（約 740 m²）

予約状況：10月6日（火）～10月10日（土）

(2) スケジュール

10/6（火）	10/7（水）	10/8（木）	10/9（金）	10/10（土）
搬入・設営・展示	審査準備	審査会	作品梱包・撤去	搬出完了

（補足）

10月7日（水）：共催者（日本伝統工芸士会）による展示の確認等を行う。

10月8日（木）：審査委員（約 15 名）による審査会を行う。

※全日程一般非公開。詳細は委託決定後に協議し、設営等のスケジュールを確定することとする。

(3) 委託業務の内容

- ①会場設営、作品搬入と展示
- ②必要な什器、展示台、備品の用意
- ③必要な製作物の手配（作品カード、賞札、業種札）
- ④鑑査、審査会の運営補助（作品の移動等）
- ⑤鑑査、審査会の記念撮影（監査役、審査委員の集合写真を各 1 枚撮影すること）
- ⑥鑑査、審査会の様子の撮影
- ⑦審査会後の作品梱包、搬出、倉庫での保管

補足①【会場の設営について】

- ・業種（織物、陶磁器など 15 業種を想定）ごとにまとまりを作り、作品番号または作品の大きさによって見やすく展示すること。また業種札を掲示するなどし、監査役・審査委員が遠目でも業種の場所がわかるよう工夫すること。
- ・会場内に、審査委員（約 15 名）が着席し、議論および休憩（昼食をとる）スペースを設けること。
- ・会場内に、伝産協会の職員（約 10 名）の作業スペースを設けること。
- ・審査会で生じたゴミ（弁当ガラ、ペットボトルなどの飲食物および紙類など）を破棄すること。

補足②【必要な備品・什器の手配】（概算見積用）

- ・展示台（任意。一般的な長机も可、会場でのレンタルも可）
- ・衣桁 30 本

- ・ 撞木 40 本
- ・ 吊りワイヤーフック 10 本（または壁面装飾用の器具）
- ・ 全身トルソー5 体
- ・ 上半身トルソー2 体
- ・ 衣桁等の下に敷く畳または保護シート（紙等の素材は問わない）想定して見積を作成すること。
- ・ そのほか利用を予定される備品類（任意）

補足③【審査会用の製作物】（概算見積用）

下記の展示備品を製作し、展示すること。

製作物名	サイズ等	数量
作品カード （出品者名の記載なし）	縦 8cm×横 20cm（半光沢紙） ※平置きを想定	応募点数分（350 枚 想定）
賞札	縦 30cm×横 10cm ※モノクロ印刷。立て置き。 ※ハレパネ等で厚みを持たせる こと	15 枚想定
業種の分類札	約 A4 ※ハレパネ等で厚みを持たせる こと ※立て看板（または壁貼付）を 想定	15 枚想定

※必要なデータのうち伝産協会が作成するものは支給する。
※用紙サイズ等詳細は、委託後に協議し決定することとする。

補足④【運営補助】

作品の移動や並び替えが生じた場合は、対応すること。

補足⑤【撮影について】

開催の様子、記念撮影データは共に図録に掲載予定。

補足⑥【梱包・搬出・作品保管】

再梱包と搬出後、展示会①（パシフィコ横浜）まで適切に保管すること。

※着物・木工など、長期保管が難しい作品は、一時的に製作者に返送する可能性がある。その場合、返送業務を委託する。なお一時返却にかかる返送料・再送付料は伝産協会が負担する。
※審査会において選外（展示対象外）になった作品は、審査会終了後、速やかに返送すること。

5-4. 作品の撮影（図録掲載用）

適宜、入賞作品および展示対象となった全作品の写真を撮影し、データ（.JPG）を納品すること。
※カメラマン及び撮影場所の手配を含めて委託する。

※入賞作品は授賞式で掲出するパネルに掲載するため、パネル作成に間に合うスケジュールで撮影を行うこと。

※基本的には1作品1カットだが、入賞作品は複数カットを撮影する場合がある。

※図録掲載を想定した高解像度かつ背景色の統一、作品の形状や質感・色等に配慮すること。

※画像データの著作権は伝産協会に帰属する。なお出品者の希望により、自身の作品のデータを渡し、その二次利用を認める。

5-5. 展示用パネルの製作について

「審査会場」「展示会②」で以下のパネルを掲出するため、製作・掲出すること。

製作物名	内容	枚数	サイズ (予定)	搬入場所	展示方法
パネル①	受賞作一覧	1	A0	・授賞式 ・展示会②	イーゼルを手配すること
パネル②	審査委員一覧	1	A0	展示会②	壁面取り付け
パネル③	本展の紹介	1	A0		
パネル④	主催者の紹介	1	A0		
パネル⑤	共催者の紹介	1	A0		
パネル⑥	イラストマップ日本語	1	A0		
パネル⑦	イラストマップ英語	1	A0		
パネル⑧	会場内の撮影について	5	A0		
パネル⑨	各業種の紹介	5	A0		
パネル⑩	企画紹介	2	A0		

※ すべて片面フルカラー印刷。

※ テキストデータを支給するため、デザインの調整から委託する。

※ 重さやスペースの都合により壁面取り付けが難しい場合は、イーゼル等の代替候補を検討する。

※ サイズは委託決定後、協議により決定することとする。

5-6. 授賞式 ※授賞式で作品は展示しない。

(1) 概要

日程：11月6日（金） ※時間未定

会場：小田原三の丸ホール（神奈川県小田原市本町 1-7-50）

(2) 委託業務の内容

上記「5-6」で製作を委託した「パネル①」と、展示用イーゼル（1台）を、前日に会場に到着するように配送すること。（到着日時、送付場所は変更になる場合がある）

⇒授賞式終了後、伝産協会職員が梱包し宅配便で回収する。またセキュリティの都合により授賞式の撮影手配は不要。そのため授賞式には、スタッフ・カメラマンの派遣は不要。

5-7. 展示会①（パシフィコ横浜）

(1) 概要

一般公開の会期：11月7日（水）～11月9日（月）

場所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

会場：展示ホールC・D内の一区画（展示面積800㎡想定）

11月6日（金）	11月7日（土）	11月8日（日）	11月9日（月）
搬入・展示準備	会期	会期	16時会期終了。 ⇒当日中に搬出

(2) 展示会①のなりたち（委託範囲の補足）

「KOUGEI EXPO in KANAGAWA」（伝統的工芸品月間国民会議全国大会神奈川大会：以下「月間大会」）の催事プログラムの一つとして、本展の展示会を開催する。同会場（展示ホールC・D）内では別団体による催事も行うため、本展の利用スペース（㎡・場所等）については詳細未定。

⇒ ホール内の各ブースの設営は、別途、月間大会の設営業者に委託するため、本企画公募の委託業務に含まない。具体的には、①間仕切りパネルの手配と会場のブース設営、②各ブースの看板・パネル ③展示台の手配、③休憩用スペースに設置する長机と椅子の手配と設置については、月間大会の設営業者に委託するため、本委託においては不要。

※会場設営は、11月5日（木）に月間大会の設営業者が行う予定。

※間仕切りパネルは、壁面作品を展示できるものを用意する予定。

※会場付近に、備品を安置できるスペース（約100㎡）を設営予定。

※最終日は16時に閉場後、当日中に搬出する必要がある。月間大会の設営業者が手配した展示台・間仕切りパネル・看板・パネル等は、そのまま会場に残して構わない。

⇒ただし複数の委託業者が一斉に撤去・搬出予定で混乱が予想されるため、10月頃、伝産協会を通して月間大会の設営業者等と連絡し、具体的なタイムスケジュールと導線を協議することとする。

(3) 委託業務の内容

- ①作品搬入と展示
- ②テレビモニターの手配
- ③必要な什器、展示台、備品の用意
- ④必要な製作物の手配（作品カード、パネル、賞札、業種札）
- ⑤搬出

補足①【作品搬入と展示】

11月6日（金）中に作品を搬入し展示を終えること。具体的な日程は委託後協議する。

補足②【テレビモニターの手配】

会場に設置するメディア機器の手配すること（来場者の視聴用）

- ㊦テレビモニター（60インチ程度）1台
- ㊧メディアプレイヤー（USBメモリ対応）1台

補足③【必要な備品・什器の手配】（概算見積用）

- ・衣桁 30本
- ・撞木 40本
- ・吊りワイヤーフック 10本（または壁面装飾用の器具）
- ・全身トルソー5体
- ・上半身トルソー2体
- ・畳（大・中 各20枚）
- ・アクセサリ等小物類の展示ケース（2台）
- ・刃物用 鍵付きガラスケース（3台）
- ・そのほか利用を予定される備品類（任意）

補足④【展示会①の製作物】（概算見積用）

下記を製作し、展示すること。

製作物名	サイズ等	数量
作品カード （出品者名・価格記載あり）	縦8cm×横20cm（半光沢紙） ※平置きを想定	応募点数分（350枚想定）
入賞作品の紹介カード （審査講評を掲載予定）	はがきサイズ ※ハレパネ等により厚みを出す こと	15枚想定
賞札 業種の分類札	「審査会」用に製作したものを流用して構わない。 （審査会后、回収し、忘れずに持参すること）	

- ※必要なデータのうち伝産協会が作成するものは支給する。
- ※用紙サイズ等詳細は、委託後に協議し決定することとする。

5-8. 展示会②（国立新美術館 1D 展示室）

(1) 概要

一般公開の会期：11月25日（水）～12月7日（月）

場所：国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）

会場：展示室 1D（約1,000㎡）

11月20日（金）	11月24日（火）	11月25日（水）	12月7日（月）	12月8日（火）
館内バックヤード に作品搬入	展示室の設営、作 品展示	会期初日	13時会期終了 ⇒当日中に作品移 動	館内バックヤード で梱包・搬出

※会期中の開室時間は10時～18時30分。12月1日（火）は休館。

※11月20日（金）のバックヤードへの事前搬入は必須ではないため、11月24日（火）当日の搬入も可。12月9日（水）以降のバックヤードの利用有無を含め、委託決定後に協議して決定する。

(2) 委託業務の内容

- ①展示レイアウトを伝産協会と協議すること。また作品・備品を搬入し、設営・展示すること。
- ②必要な什器、備品、展示台の用意
- ③必要な製作物の手配（パネル、作品カード、賞札、業種札の手配）
- ④テレビモニターの手配
- ⑤会期中：受付スタッフ（3名）の派遣
- ⑥会期終了後：作品梱包・撤去・搬出等

補足①【備品の搬入・搬出について】

搬入時、搬出時、伝産協会に立ち寄り、協会所有の備品類の積み下ろしも行うこと。

補足②【必要な備品・什器の手配】（概算見積用）

- ・衣桁 30 本
- ・撞木 40 本
- ・吊りワイヤーフック 10 本（または壁面装飾用の器具）
- ・全身トルソー5 体
- ・上半身トルソー2 体
- ・畳（大・中 各 20 枚）
- ・アクセサリ等小物類の展示ケース（2 台）
- ・刃物用 鍵付きガラスケース（3 台）
- ・陳列台用（大）サイコロ 80 個
- ・陳列台（W2400×D1200×H30）40 個
- ・そのほか利用を予定される備品類（任意）

※陳列台は、国立新美術館から貸与されるが、足りない分はレンタルで手配することを想定。

〈補足：美術館提供の備品について〉

国立新美術館の備品カタログを参考に備品を選び、希望数を申請後、美術館が決定する。借りられる数量は毎年異なる。

（2025 年度の貸出実績）

彫刻台 W350mm×D350mm×H1100mm	2 台
彫刻台 W600mm×D600mm×H600mm	2 台
陳列台（覗きケース兼用） W1800mm×D900mm×H50mm	65 台
陳列台用サイコロ（大） W350mm×D350mm×H650mm	105 個
陳列台用サイコロ（小） W150mm×D200mm×H350mm	90 個

補足③【展示会②の製作物】（概算見積用）

下記を製作し、展示すること。

製作物名	サイズ等	数量
タペストリー（天井吊り）	縦 210×横 300cm	1 枚
作品カード （出品者名記載あり、価格記載なし）	縦 8cm×横 20cm ※ハレパネ等により厚みを出すこと	応募点数分（350 枚 想定）
パネル②～⑩	上記【5-5 展示用パネルの製作について】のとおり。	
賞札、業種札	審査会用に製作したものを流用して構わない。	
入賞者紹介カード	展示会①用に製作したものを流用して構わない。	

※製作に必要なデータは伝産協会より支給 ※サイズ等詳細は、委託後に協議し決定。

補足④【テレビモニターの手配】 ※展示会①と同様。

- ㊦ テレビモニター（60 インチ程度） 1 台
- ㊦ メディアプレイヤー（USB メモリ対応） 1 台

補足⑤【会期中：受付スタッフの派遣】

会期中の受付スタッフ 3 名を派遣すること。（各日稼働 9：30～18：30／休憩 1 時間含む）。

来場者のカウント・受付対応、会場の監視・清掃など、一般的な美術館受付業務を委託予定。
（専門的な質疑、関係者・マスコミ対応等は伝産協会の職員が行う）。

5-9. 作品の返送業務について

- ・ 展示会②の終了後、速やかに作品を出品者に返送すること。
- ・ 必要に応じて、梱包資材を手配すること。
- ・ 応募情報をもとに返送伝票を作成し、破損・紛失のないよう梱包・返送を行うこと。

5-10. 図録の製作、発送業務について

図録のデザイン・レイアウト・製作・印刷・発送を委託する（図録は非売品）

- ・ 内容：フルカラー80 ページ（中綴じ、別途表紙をつけること）
- ・ 印刷部数：700 冊
- ・ 出品者等（350 名想定）に 1 冊送付。受賞者（15 名想定）には 10 冊送付。
- ・ 国立新美術館での展示会終了後、令和 9 年 2 月末頃までに納品、送付予定。

5-11. そのほか想定される業務

- ① 業務遂行のための対面による打合せ。
- ② 対外的な書類の委託業務に関わる記述の確認作業。

※7月頃、出品者に向けた「開催要項」を公開予定。作品送付・返送時の注意、保険の免責事項、展示に関する注意等、委託業務に関わる記述内容について協議及び確認を依頼する予定。

※そのほか施設等への書類作成において、委託業務に関わる記載確認を依頼する予定。

③ 伝産協会が求める見積書・請求書・各種証書等の事務書類の作成と提出。

④ 伝産協会との速やかな情報共有。

※各施設、出品者への連絡は原則として伝産協会が窓口となる。

(6) 見積作成における注意点・補足

見積書の項目は別紙「見積作成時のお願い」を参照し、任意の書式で提出すること。

※本企画公募に提出される見積は概算とし、各会場の設営条件、出品作品の状況により変動する点（備品・什器レンタル費・保険料・作品返送料など）を含め、費用決定に必要な情報が定まった時点で改めて見積・明細を提出されたうえで費用確定し、実費を支払うこととする。

以上

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
令和8年度 伝統的工芸品公募作品展事務局